

吉川の風

東広島市立吉川小学校
令和7年11月28日
No.18 校長 沖 秀治

読書の秋

ちょっと（かなり？）遅いですけど、ぎりぎり11月ということで、今回は秋にちなんだタイトルです(^^;

「秋」と聞いて、皆さんはどうな秋を思つかべるでしょうか。スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋…。いろいろな秋がありますが、今日は「読書の秋」についての話をしようと思います。

私の知り合いにこんな人がいます。

その人は小・中学生のころ、ほとんど本を読まない少年だったそうです。でも、高校に進んだある日、友達が子どもの頃に読んだ本を、全く読んでいない自分に気付きました。そこで、これではいけないと一念発起。毎週10冊以上の本を図書館で借りてきて、読み続けたのです。1年間でざっと500冊。しかも、それを3年間続けたというのですから驚きです。

私はと言えば、小学生のころはけっこう本を読みました。でも、中学生になってからはあまり読まなくなり、大人になってから、そのことでちょっと恥ずかしいなと思うことがよくありました。私は恥ずかしいと思うだけで、あまり読もうとは思わなかったのですが…。

でも、知り合いの人の話を聞いて、ちょっとやりやる気がわいてきました。今からでも遅くない、そんなふうに思えたのです。

その人は私に、こんな話をしてくださいました。

「読み始めておもしろくない本は、気にしないで読むのをやめちゃえばいいんだよ。読み始めたら最後まで読まなくちゃいけない、そんなふうに考えていたら、本を楽しく読むことはできないよ。読みかけの本が、たとえ10冊になっても、20冊になっても、気にしなくていいんだよ。そのうちに、きっとおもしろいなと思う本に出会えるはずだよ。」

今、私の枕元には、読みかけの本がおいてあります。

“読書の秋”です。もうすぐ終わりますけど(^^;



公益財団法人 嘉登屋記念事業団という財団をご存じでしょうか？ 昭和50年に設立された財団で、設立以降、毎年、東広島市内の小・中学校に学校図書館用図書の寄贈を続けておられます。

今年は、吉川小学校を含め、市内小学校19校に計2,602冊の本を寄贈していただき、昨日、贈呈式に出席してきました。吉川小学校の図書コーナーに本が届くのはもう少し先になりますが、子ども達と一緒に楽しみに待ちたいと思います。

12月の下校時刻をお知らせします